



鎌田篤司
市政クラブ

浦郡の海の豊かさを 守る活動について

問 海の豊かさを守るための継続的な事業への、今後の取組について伺う。

答 「海のまち・がまごおり」の魅力を高めるための貴重な財産のひとつである海を守るため、これまでの事業を推進するとともに、地元企業が実施する社会貢献活動への支援を行い、海洋環境保全に対する理解促進を図っていく必要がある。今後海と関わる関係機関等と連携・協力し、実施していく。

文化協会の文化講演 事業について

問 文化協会がこれまでにやってきた文化事業の実績を伺う。

答 文化事業は、文化協会と市教育委員会が

共催し、継続して様々な事業を実施している。令和3年度は「オーケストラによる午後のコンサート」を行い市民がクラシック音楽を楽しんだ。

問 文化事業の今後の予定を伺う。

答 5年2月19日に戦国時代史研究の第一人者として有名な静岡大名誉教授小和田哲男氏の講演会を計画している。

5年のNHK大河ドラマ「どうする家康」の放映に合わせ、市民が楽しめる歴史イベントとなると同時に、市や文化協会にとっても有意義なものになると考えている。



「海のまち・がまごおり」



鈴木貴晶
自由クラブ

市有地の定期借地権 について

問 春日浦住宅地の契約実績について伺う。

答 令和4年5月末現在、約97%の区画が契約済みで、今年度中の完売を目指している。定期借地権導入後、売却を16区画、定期借地権付土地賃貸借契約を49区画締結した。このうち、市外在住者の契約が44区画と、約68%を占めている。

問 市有地の定期借地権のさらなる拡大について、市の考えは。

答 市有地の売却は、まず公募売却を実施するが、落札されない土地は維持管理費用のみがかかることも事実である。定期借地を含めた今後の市有地の販売方法は、先進自治体等の事例を踏まえながら検討していきたい。



鈴木貴晶
自由クラブ

学校体育施設開放 について

問 学校体育施設開放の制度として対外試合を認めてはどうか。

答 対外試合を行う際には、登録団体とともに登録していない団体が学校体育施設を利用することになるため、申込みをする登録団体が、物品破損等の事故や学校利用マナーの周知等の様々な責任について、他の団体も含め、代表して引き受ける必要がある。そうした理解を前提に、学校体育施設開放の制度内で対外試合を実施できるよう、制度の見直しを検討したいと考えている。



春日浦住宅地



林 大須賀
自民党市議団

少子化対策について

問 人口の推移について、行政としてどのように捉えているか伺う。

答 本市では人口減少とともに少子高齢化が進み、税収の減少や地域の担い手不足が懸念される。子育て世帯の流入や定住者の増加を図りつつ、第五次総合計画に定める令和12年の目標人口7万7千人の達成を目指していく。

問 少子化対策として婚活事業を行う予定はないのか伺う。

答 現在、男女共同参画事業の一つとして婚活イベント等を開催している。結婚を望む人に対し、異性と交流する機会を提供するといった「出会いの場の創出」を目的として実施しており、直接的な少子化対策として実施す

るものではない。

第3次男女共同参画プランでは、基本理念である「多様な個性を生かした魅力のあるまち」を目指し、「ワーク・ライフ・バランスの実現」に向けた取組を推進している。

問 保険適用外の特定不妊治療について市独自で費用の一部を助成すること等はできるか。

答 体外受精、顕微授精等の特定不妊治療は保険適用だが、追加的に行われる治療は保険適用外となるものもある。その人にあつた有効な治療を安心して受けられるよう、市独自の補助制度について検討していく。

